

研究概要

日本の高等教育機関では、多様な背景をもつ学生の増加等により、個別のニーズに対応できる教育や学習サポートの提供、またその環境整備が早急の課題となっている。さらにこの傾向を受けて、いわゆる学修（習）支援センターを設置する機関が増加している。それにともない、JADE 他学会等における学修（習）支援関連の発表も増えている。このような発表は個別で行われることが多く、前述の課題に応えるかたちでの学修（習）支援をアツクアツクシンポジウムやパネルディスカッションは、開催されてはいるもののその数は決して充分とはいえない。

本研究では、高等教育機関におけるこういった学修（習）支援活動をシンポジウムという形式で報告することで、まとまったかたちでの情報発信を行う。また学修（習）支援における「ICT 活用」という点に絞ることで、当該フィールドではまだ導入の方法が模索されている ICT をいかに活用することができるかを探り、今後の同分野の発展に貢献する。シンポジウムの登壇者は、特徴があり体系的に行われている学修（習）支援の事例報告や、学修（習）支援活動への ICT 活用の提案を行うことで、参加者が現在および将来的に実践していける情報を提供することをめざす。また本シンポジウムでは、できる限り具体例を交えて発表することで、参加者が自身の環境で応用しやすい情報の提供や課題の共有、新たな知見を得ることができるようになる。

シンポジウムの日程および内容は次の通りとする。「開催形態」にあるように、学習支援部会単独ではなく JADE 他部会および大学 e ラーニング協議会と共催することで、双方の会員にとってより多様で活発、かつ参加しやすい部会とする。

研究成果（学会発表・論文発表（予定も含む）についても記載する）

【シンポジウム概要】

開催日時： 2019年3月15日（金）

開催形態： JADE の ICT 活用教育部会・学習支援部会と大学 e ラーニング協議会の共催

開催場所： 山梨大学

シンポジウム内容：

13:45-14:45

① 個別発表 データを利用した実践的なチュータートレーニングの実施

話題提供者：富永 敦子（はこだて未来大学）

② 個別発表 ラーニングアナリティクスに基づいた教育・学習支援をするためには

話題提供者：山田 政寛（九州大学）

14:45-15:45

③ 全体討論・質疑応答

司会： 合田 美子（熊本大学）

【主な内容】

「データを利用した実践的なチュータートレーニングの実施」

- ・公立はこだて未来大学の「メタ学習ラボ」の紹介
- ・CRLA (College Reading and Learning Association) が実施している国際チューター育成プログラム ITTPC (International Tutor Training Program Certification)の紹介
- ・Moodle を用いた予約システムの導入による成果報告
- ・メタ学習ラボの運営およびチュータートレーニングの紹介

「ラーニングアナリティクスに基づいた教育・学習支援をするためには」

- ・九州大学における学習管理システムおよびラーニングアナリティクスの推進状況の紹介
- ・ラーニングアナリティクスを行うためのデータ分析ツールの開発やその成果に基づく授業改善の提案
- ・大学図書館との学習支援連携などのラーニングアナリティクスの展開
- ・継続的なラーニングアナリティクスを進めるためのポイントの紹介

学会への貢献（会員に対して提供・共有可能なもの等を記載）

- 学習支援部会として、ICT 活用に焦点を当てたシンポジウムを開催したことで、当該テーマに興味関心をもつ会員に対して多岐にわたる情報を提供することができた。また、部会員に対して発表の場を設けることができた
- 当日、シンポジウムのライブ配信（YouTube）を行った。このため、現地に赴いてシンポジウムに参加することができない会員とも情報を共有することができた
- シンポジウムの動画配信は、時間や費用、その他の事情により学会や研究会に直接参加することが叶わない会員に対して有効である。2020年3月現在、新型コロナウイルスの影響により多くのイベントが中止・延期されている。今後、さまざまな状況に対応できるようイベントへの幅広い参加手法が可能になるべきであり、当シンポジウムはその実践例の一つとして学会活動に貢献することができた
- JADE の HP 「学習支援部会」ブログにて、当該シンポジウムの開催報告を行った